

HiKOKI

取扱説明書

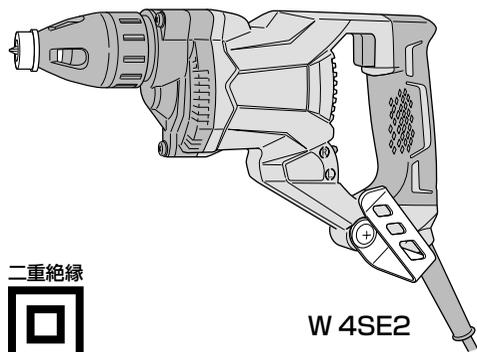
用途

●ドライウォールねじの締付け・取りはずし

ボード用ドライバ

4 mm W 4SE2 5 mm W 5SE2

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



二重絶縁



W 4SE2

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

はじめに

電動工具の安全上のご注意	1
二重絶縁について	4
本製品の使用上のご注意	5
各部の名称	6
仕様	6

使い方

ご使用前の準備	7
ご使用前の確認	8
フックの使い方	9
ビットの取りはずし・取付け	10
スイッチについて	11
正逆転切り替えについて	11
締付け深さの調整	12
保護機能について	12
ねじを締める / ゆるめる	13

その他

保守・点検	14
ご修理のときは	裏表紙

警告、 注意、 注 の意味について

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

 **注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **感電に注意してください。**
電動工具を使用中、体をアース（接地）されている物に接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
- ④ **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

警告

- ⑥ 無理して使用しないでください。
安全に能率良く作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ きちんとした服装で作業してください。
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外で作業する場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
- ⑨ 保護メガネを使用してください。
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ 防音保護具を着用してください。
騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ コードを乱暴に扱わないでください。
 - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引いてコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。
常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードを点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
 - 延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

⚠ 警告

- ⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用しない、または、準備・調整・点検・修理する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
- ⑯ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。
電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑰ 不用意な始動は避けてください。
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - 電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑱ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
屋外で延長コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。
- ⑲ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - 常識を働かせてください。
 - 疲れているときは、使用しないでください。
- ⑳ 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
 - スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外の物を使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
- ㉒ 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

二重絶縁について

二重絶縁とは、電気が流れる部分と手に触れる外枠部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されている構造のことです。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されるため感電しにくい構造です。

お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に **回** マークで表示してあります。純正品以外の部品と交換したり、間違って組み立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。電気系統の修理や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

本製品の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ボード用ドライバとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

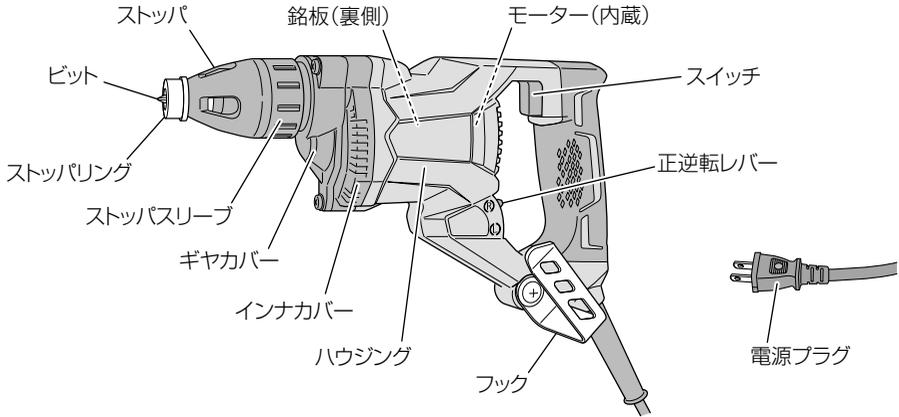
⚠ 警告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
表示を超える電圧で使用すると、速度が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② 直流電源、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。
製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。
- ③ 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に確かめてください。
埋設物に締め込まれたねじが触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあります。
- ④ 使用中は、振り回されないよう機体を確実に保持してください。
- ⑤ 使用中は、ビットなどの回転部に手や顔などを近づけないでください。
- ⑥ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- ⑦ 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、機体やビットなどに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。

⚠ 注意

- ① ビットや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
- ② ねじ締め・ゆるめ直後のねじやビットは、高温になっているので触れないでください。
- ③ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ④ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
- ⑤ 精密部品を内蔵していますので、落下等の強い衝撃を加えたり、水にぬらしたりしないでください。
誤作動等をおこす原因になります。

各部の名称



標準付属品

品名	仕様	W 4SE2	W 5SE2
No. 2 プラスビット (ハードタイプ)		1 本 (本体装着)	1 本 (本体装着)
フック		1 個	1 個

仕様

形名	W 4SE2	W 5SE2
能力 (ドライウォールねじ)	4 mm	5 mm
無負荷回転数	6,500 min ⁻¹ {回/分}	5,000 min ⁻¹ {回/分}
使用電源	単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V	
モーター	ブラシレスモーター	
全負荷電流	4.7 A	
消費電力	400 W	
質量	0.9 kg (コードを除く)	
プラスビット長さ	45 mm	
コード	2 心キャブタイヤケーブル 20 m	

ご使用前の準備

●作業場は整頓をし、明るくしてお使いください

●漏電しゃ断器の設置をお勧めします

本製品は二重絶縁構造のため、法令により漏電しゃ断器の設置は免除されています。しかし、万一の感電を防止するためにも漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをお勧めします。

●延長コードを使う場合

電気が流れるのに十分な太さの、できるだけ短いコードをご使用ください。

右表は使用できるコードの太さと、最大の長さです。

これ以上長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因になります。

コードの太さ (mm ²) (導体公称断面積)	最大の長さ (m)
0.75	15
1.25	25
2	40

ご使用前の確認

⚠ 警告

使用前に次のことを確認してください。「コンセントの確認」以外は電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

● 締付けねじの確認

締付けねじがドライウォールねじであることを確認してください。

● ビットの確認

この機体には標準付属品として、No. 2 プラスビット（ハードタイプ）が組み込まれております。

ビットの損傷により交換する場合は、P.10の「ビットの取りはずし・取付け」を参照し、ビットを交換してください。

注 ねじに合ったビットを使用してください。

ねじに合ったビットを使用しないと、ねじ頭部の十字溝とビットを傷める原因になります。

● コンセントの確認

コンセントがガタつく、または抜けやすいコンセントは修理が必要です。

修理には電気工事士の資格が必要ですので、お近くの電気工事店などに相談してください。そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

● スイッチの確認

本製品は、スイッチが入っている状態で電源プラグをコンセントにさし込んでも起動しない構造となっていますが、事故防止のためスイッチが切れていることを確認してください。(P.12「保護機能について」の"OVリリース"参照)

フックの使い方

フックは、作業の合間に腰ベルトなどにつり下げることができます。
また、左右に付け替えて使用することができます。

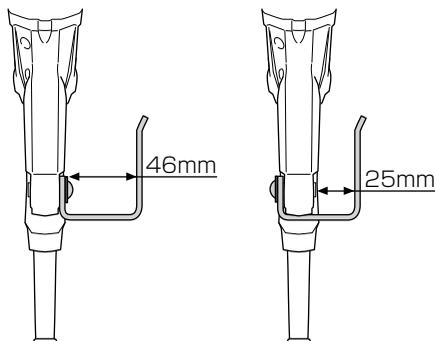
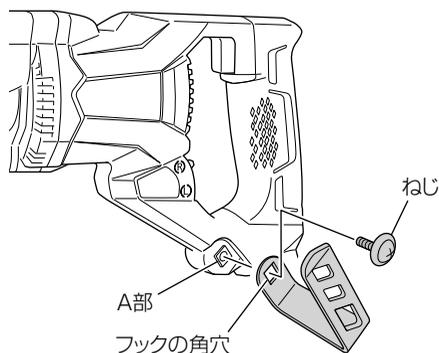
⚠️注意

- フックを使用するときは、機体が落下しないように、しっかりと掛けてください。
- フックはしっかりと取付けてください。

フックの角穴をA部にはめ込み、プラスドライバーを使用してねじをしっかりと締付けてください。

フックの取付位置を変えることにより、機体からの寸法を46mmと25mmに設定することができます。

フックは腰ベルト、または最大径46mmまでのパイプなどに掛けることができます。



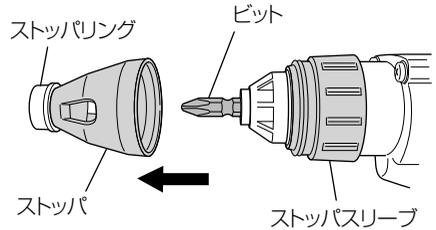
ビットの取りはずし・取付け

注 新品と交換の際は、弊社純正プラスビットを使用してください。
弊社純正プラスビットを使用しないとビットの先端が振れやすくなり、ドライウォールねじがビットからはずれやすくなります。

ビットの取りはずし

ストップスリーブを手でしっかりと押さえ、ストップを矢印方向に引き、ストップスリーブから取りはずします。

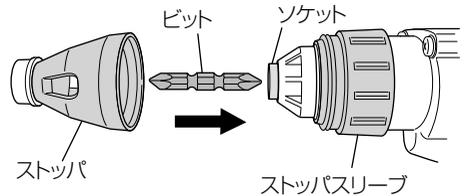
ビットの先をペンチなどで引き抜いてください。



ビットの取付け

ビットをソケットの穴に合わせてしっかりと押し込みます。

ビットを取付けましたら、ストップスリーブを手でしっかりと押さえ、ストップをストップスリーブに取付けます。

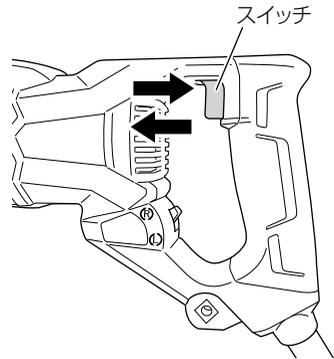


スイッチについて

スイッチは引くと入り、はなすと切れます。スイッチを引き、指をはなしたときスイッチが戻ることを確認してください。

注 磁石をスイッチに近づけないでください。

スイッチ内部の磁気センサーが反応して、モーターが回転する恐れがあります。

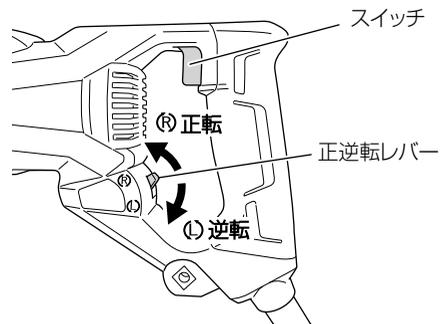


正逆転切り替えについて

正逆転レバーをⒺ側に倒すとビットはハンドル側から見て右に回り（正転）、Ⓕ側に倒すと左に回ります（逆転）。

注 回転方向を変えるときは、スイッチを切ってモーターの回転が止まったから、正逆転レバーを操作してください。

スイッチを切らずに正逆転レバーを切り替えると、停止します。一度スイッチを切り、再び入れると起動します。



正逆転レバーが正転Ⓔの場合

スイッチを引くとモーターが回りますが、ビットは回転しません。

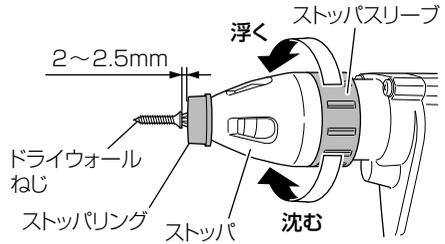
ビットの先端をねじ頭部の溝に当て、押し付けると、ビットが回転してねじを締めます。

正逆転レバーが逆転Ⓕの場合

スイッチを引くだけで、ビットの先端をねじ頭部の溝に当て押し付けなくても、ビットが回転します。

締付け深さの調整

- (1) ビットにドライウォールねじの十字穴を正しく入れ、ストップスリーブを回して、ストップリングとねじ頭との距離が2～2.5mmになるように、調整します。
- (2) 数本試し締めし、ちょうど良い距離に微調整してください。



注 ストップの先端に装着してあるストップリングは、石こうボードにドライウォールねじを締付けする際に使用してください。石こうボード表面の損傷防止に効果があります。

保護機能について

⚠ 警告

原因がはっきりせず、たびたび保護機能が作動するときは、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

注 保護機能の作動を繰り返すと、機体が故障する原因になります。

機体を保護するため、問題が発生したときは、保護機能が働いて自動停止します。各状態は以下のようになっています。

保護機能	内容と対応
逆転連続防止	逆転で20秒以上連続して運転したとき、機体の故障を防ぐため停止します。 一度スイッチを切ると復帰します。
過負荷	大きな負荷がかかったとき、機体の故障を防ぐため停止します。 過負荷となる作業を止めて、一度スイッチを切ると復帰します。
温度上昇	内部の温度が規定温度を超えたとき、高温による故障を防ぐため停止します。 大電流が連続で流れる作業や、高温環境で急激な連続作業をすると、内部の温度が高くなります。 10～15分ほど機体を休めてから使用してください。
OVリリース	スイッチを入れた状態で、電源プラグをコンセントにさし込んでも起動しません。 一度スイッチを切ることで、解除できます。

ねじを締める / ゆるめる

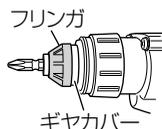
ドライウォールねじの
締め付け、ゆるめ

⚠警告

- 使用中は軍手など巻き込まれる恐れのある手袋を使用しないでください。ねじやビットなどに巻き込まれ、けがの原因になります。
- スイッチが入っている状態で、ねじをビットに合わせるとき、ビットを機体方向に押し込まないでください。ビットが回転し、けがの原因になります。

⚠注意

- ドライウォールねじ以外のテクスねじ・木ねじは使用しないでください。ねじやビットが高温になり、やけどや機体故障の原因になります。
- フリンガをはずして使用しないでください。



ねじを締める

1 回転方向を正転(⌚)に合わせる

(P.11「正逆転切り替えについて」参照)

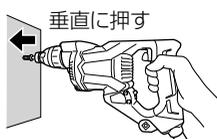
ねじをゆるめる

注 P.12「保護機能について」の"逆転連続防止"を参照してください。

1 回転方向を逆転(⌚)に合わせる

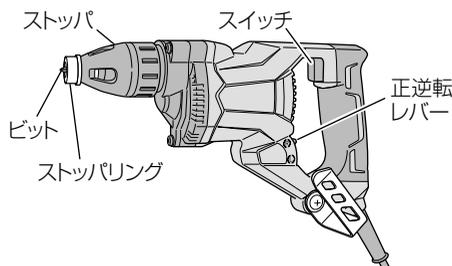
2 ねじを締める

- ねじの十字穴に正しくビットをはめ、取付面にねじの先端を当てて、垂直に押し付けながらスイッチを引きます。または、スイッチを引きながら、垂直に押し付けます。
- 締め終わりましたら、押し付け力をゆるめるとビットの回転が止まります。(P.11「正逆転切り替えについて」参照)



2 ねじをゆるめる

- ねじの十字穴に正しくビットをはめて、スイッチを引きます。
- ビットがねじの十字穴に入りにくいときはストッパをはずして、作業をしてください。



保守・点検

●ビットの点検

先端部が摩耗したり折損したビットを、そのまま使用すると、ねじ頭を傷めますので新品と交換してください。

●モーター部の取扱いについて

内蔵のモーター部 (P.6「各部の名称」参照) に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

●機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

●清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布を良く絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が 50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
 - 軒先など雨が掛かる場所、湿気のある場所
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>